

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公表番号】特表2008-543743(P2008-543743A)

【公表日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2008-511256(P2008-511256)

【国際特許分類】

A 6 1 K 6/083 (2006.01)

C 0 7 D 339/00 (2006.01)

C 0 8 F 28/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 6/083 5 0 0

C 0 7 D 339/00 C S P

C 0 8 F 28/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月28日(2009.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

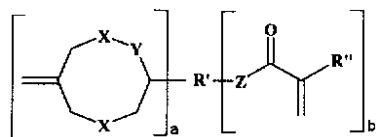
【請求項1】

少なくとも1つの(メタ)アクリロイル部分が付着する少なくとも1つの環状アリル硫化物部分を有する重合可能な化合物を含み、該化合物が、該環状アリル硫化物部分の環状構造に直接結合する酸素原子を含む、硬化可能な歯科組成物。

【請求項2】

少なくとも1つの(メタ)アクリロイル部分が付着する少なくとも1つの環状アリル硫化物部分を有する重合可能な化合物を含み、該化合物が以下の式で表される、硬化可能な歯科組成物。

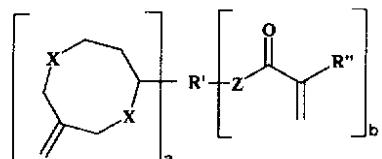
【化1】



式I a

又は

【化2】



式I b

[式中、各Xは、少なくとも1つのXがS、又はSを含む基であるという条件で、S、O、N、C、SO、SO<sub>2</sub>、N-アルキル、N-アシル、NH、N-アリール、及びカル

ボニルから独立して選択され；

Yは、存在しないか、あるいは任意にヘテロ原子を包含するC1～C3のアルキレン、カルボニル、アシル、又はこれらの組み合わせであり；

Zは、O、NH、N-アルキル、又はN-アリールであり；

R'は、少なくとも2つの炭素を有するアルキレン、少なくとも1つのヘテロ原子（例えば、O、N、S、S-S、SO、SO<sub>2</sub>）を有するアルキレン、アリーレン、脂環式、カルボニル、シロキサン、アミド（-CO-NH-）、アシル（-CO-O-）、ウレタン（-O-CO-NH-）、尿素（-NH-CO-NH-）基、並びにこれらの組み合わせから選択される基を含む連結部であり；

R"はH又はCH<sub>3</sub>であり；

aは1～3であり；

bは1～3であり；

ここで、1以上の環状アリル硫化物部分は、任意に環上で、直鎖状又は分岐鎖状アルキル、アリール、シクロアルキル、ハロゲン、ニトリル、アルコキシ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキルチオ、カルボニル、アシル、アシルオキシ、アミド、ウレタン基、及び尿素基から選択される1以上の基により、さらに置換され得る。】

### 【請求項3】

歯科修復剤の調製方法であり、

請求項1に記載の硬化可能な歯科組成物を提供することと、

該組成物を患者の歯に適用することと、

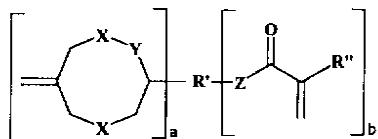
該組成物を重合すること、

とを含む方法。

### 【請求項4】

次式で表される化合物。

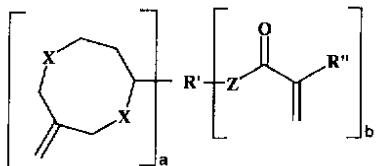
### 【化3】



式I a

又は

### 【化4】



式I b

[式中、各Xは、少なくとも1つのXがS、又はSを含む基であるという条件で、S、O、N、C、SO、SO<sub>2</sub>、N-アルキル、N-アシル、N-H、N-アリール、及びカルボニルから独立して選択され；

Yは、存在しないか、あるいは任意にヘテロ原子を包含するC1～C3のアルキレン、カルボニル、アシル、又はこれらの組み合わせであり；

Zは、O、NH、N-アルキル、又はN-アリールであり；

R'は、少なくとも2つの炭素を有するアルキレン、少なくとも1つのヘテロ原子（例えば、O、N、S、S-S、SO、SO<sub>2</sub>）を有するアルキレン、アリーレン、脂環式、カルボニル、シロキサン、アミド（-CO-NH-）、アシル（-CO-O-）、ウレタ

ン( - O - CO - NH - )、尿素( - NH - CO - NH - )基、並びにこれらの組み合わせから選択される基を含む連結部であり；

R"はH又はCH<sub>3</sub>であり；

aは1～3であり；及び

bは1～3であり；

ここで、1以上の環状アリル硫化物部分は、任意に環上で、直鎖状又は分岐鎖状アルキル、アリール、シクロアルキル、ハロゲン、ニトリル、アルコキシ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルキルチオ、カルボニル、アシル、アシルオキシ、アミド、ウレタン基、及び尿素基から選択される1以上の基により、さらに置換され得る。】